

3年生に伝えたいこと

進路が決定した人へ

◆合格がゴールではありません。ここからがスタートです。残りの高校生活でさらに成長できるはず。その姿を「合格」を与えてくれた人に見せるのが感謝の心です。

◆今頑張っている人の支えになって下さい。小さな事でも良いのです。絶対に休まない。授業を真剣に受ける。当たり前なこと、そして、少しの頑張りでできることはあるはず。す。仲間のために雰囲気をつくって下さい。

◆今のうちにしかできないことをたくさんして下さい。検定にチャレンジしたり、本を読んだり・・・。



まだまだ続く

「津商ロード」

「自彊」を忘れない

有終の美を飾る！

～平成30年度前半を振り返って～

今年度もおよそ半分が過ぎました。卒業の日まで計算すると、あと数ヶ月しか学校に来ることはできません。皆さんの目標は残された高校生活を全てのことに「感謝」しながら大切に過ごすことです。

さて、「『有終』とは、終わりを全うすること」、「『有終の美を飾る』とは、最後までやり通し成果をあげること」です。何か大きな事を残すのではなくて残された日々を大切に、精一杯心を込めて過ごしていくことが、「有終の美を飾る」ということだと思います。そしてその姿勢が1・2年生の後輩たちへの模範となり、津商のよりよい校風、伝統として引き継がれていくことになります。具体的にはルールを守り安全に過ごすということ、授業を大切にすること、家庭でも言葉や手伝いなどで感謝の気持ちを伝えるということを経営まで貫くことです。服装・頭髪に関して「進路が決定したから少しぐらいはいい」という考えが頭を持ち上げていませんか？授業に真剣に取り組む姿勢を忘れていませんか？家で手伝いをしていますか？胸を張って「最後まで頑張り通した！」と言える人間になって下さい。

また、今年は、これまで災害が非常に多かった。交通事故もありました。私自身、本当に気の抜けない半年でした。みんな元気に卒業式を迎えられるようにお互い気をつけながら、未来に向かって、一步步成長していきましょう。